再 発 防 止 対 策 書

北陸支部

発生日時	令和 6年 8月 8日（木曜日） 9時 30分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 ― 名		負傷 1 名		職種 電工			年令 32才	経験年数 15年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧 77kV	2回線	電線 RS-XTACIR 240mm^2	地線 AC 70mm^2						

災害の状況

［件　　名］　タワークレーン組立中、起伏シリンダーとタワーマストの間に
左手親指を挟まれ受傷

［作業内容］　タワークレーン組立

［発生状況］　被災者は、作業員Bと2名でタワークレーンのブームをタワーマストに
ピン留めし、ブームに小ロープで仮止めしてあるシリンダーをタワーマストに
取付ける時にタワーマストのシリンダー取付け部(凹部)とシリンダー(凸部)
に左親指を挟まれ受傷した。

［被災程度］　左母指不全切断

［服装・装備］安全帽、作業服、足袋、手袋、墜落制止用器具

［災害発生要因］

1. 被災者は、重量物である起伏シリンダーを下げる際、挟まれる恐れがあるタワーマスト溝部に無意識に手を置いていた。

2. 作業班長および作業員は、慣れた作業(何度も経験あり)であったため、危険意識が薄かった。

［再発防止対策］

1. 重量物取扱時における手を置く位置の確認

2. 重量物取扱時における危険ポイントの確認および注意喚起の実施

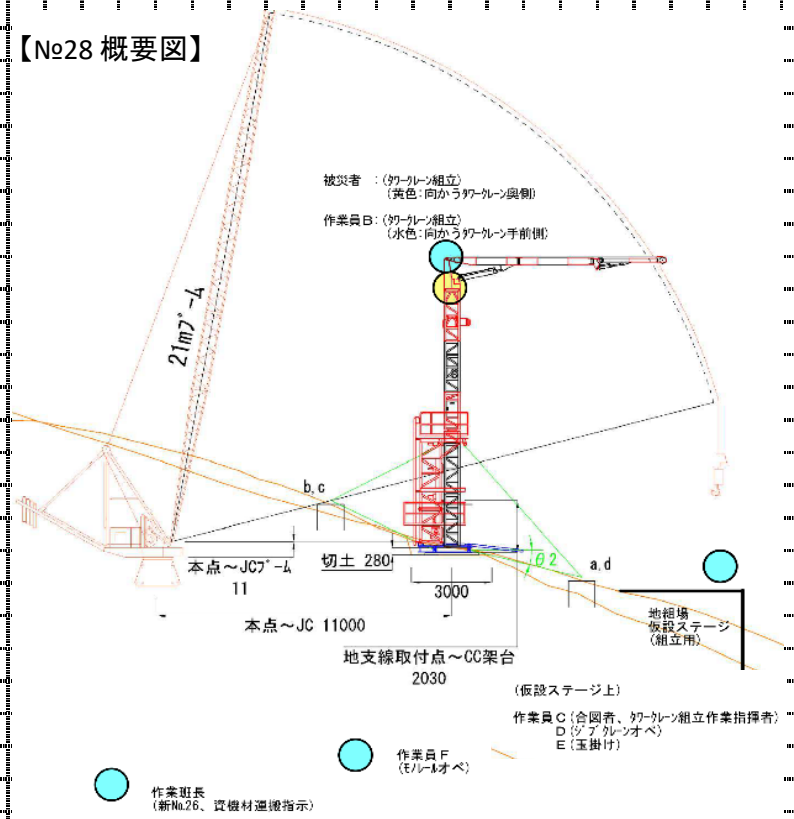
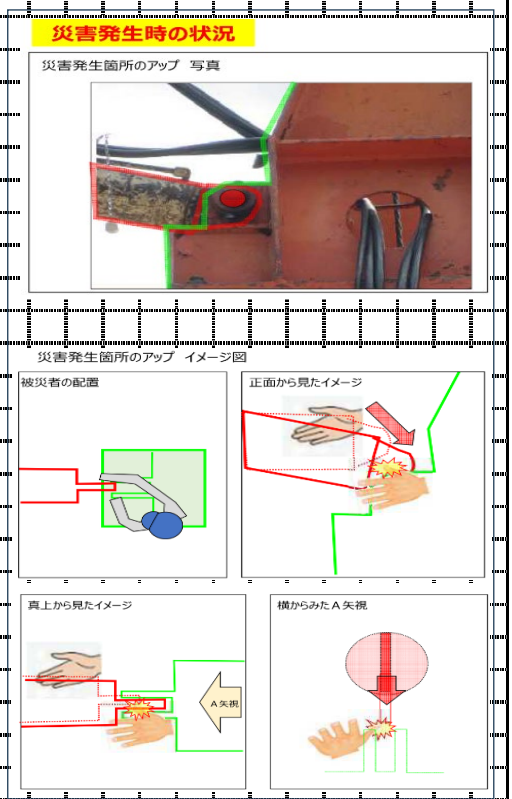
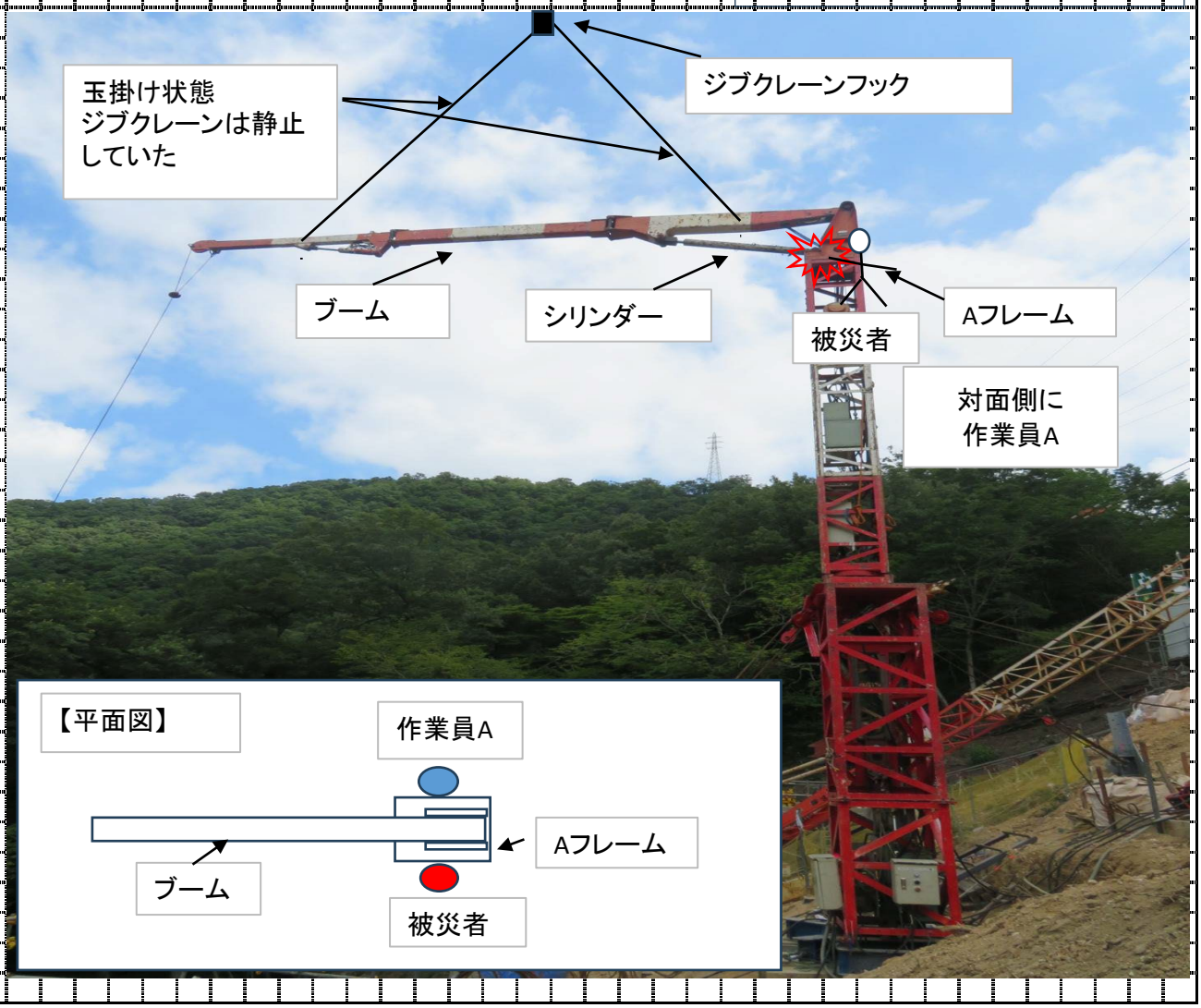
3. タワークレーン組立のブーム取付作業における危険ポイントの再教育

4. 起伏シリンダーの高さ調整において、作業している手だけでなく危険のポイントにも意識が向き易くする工具の採用（ブーム・起伏シリンダーそれぞれにナイロンスリングを付け、ナイロンスリングをレバーブロックでつなぎ、レバーブロックの巻取り等で高さを調整）

（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。
2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

［発生状況概要図・写真］

【№28 概要図】